

学校名	京都産業大学附属高等学校
所在地	京都市下京区中堂寺命婦町 1－10
電話番号	075－279－0001

(1)	「知性」「品格」「気概」を校訓とし、「豊かな教養と、全人類の平和と幸福のために寄与する精神を持った人間の育成」を教育目標とします。																																										
(2)	①生徒が将来一人の社会人として自立し、社会に貢献できる人物に成長していくために、生徒一人ひとりの進路希望を実現するためのきめ細かな指導を行い、高い学力を修得すべく個に応じた教育を行います。また、大学附属校であることの利点を活かし、中学・高校・大学の一貫教育、連携教育を積極的に行います。 ②同時に、高い倫理観を持ち、幅広い教養と逞しい行動力を持った人間力（人間性）溢れる人物として成長していくために、課外活動への参加を奨励し、人間教育やきめ細かい生活指導を積極的に行います。																																										
(3)	・令和8年度納付金 ※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。 ・今回改定 あり なし ・前回改定 令和7 年度 <table><tr><td>【1年生】</td><td>入学金</td><td>施設拡充費 (入学時)</td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計 (入学時除く)</td><td>考查料</td></tr><tr><td></td><td>120,000</td><td></td><td>660,000</td><td>264,000</td><td>924,000</td><td>20,000</td></tr><tr><td>【2年生】</td><td></td><td></td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>660,000</td><td>264,000</td><td>924,000</td><td></td></tr><tr><td>【3年生】</td><td></td><td></td><td>授業料</td><td>施設拡充費等 * (経常的)</td><td>計</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>600,000</td><td>340,000</td><td>940,000</td><td></td></tr></table> *施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考查料		120,000		660,000	264,000	924,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					660,000	264,000	924,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					600,000	340,000	940,000	
【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考查料																																					
	120,000		660,000	264,000	924,000	20,000																																					
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			660,000	264,000	924,000																																						
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			600,000	340,000	940,000																																						
・今後の納付金に対する考え方	社会の経済状況から、保護者に学費変更による負担をお願いすることは非常に困難なことではありますが、物価高騰、校舎の施設設備の維持更新（空調やICT機器）など、学校改革のための費用は必要となります。今後も納付金の増額改定は最小限に抑えつつ、教育の質向上に努めてまいります。																																										
(4)	「建学の精神」を基本とし、将来グローバル化社会で活躍できる人材の育成、コースそれぞれの進路実現を目標として教育活動に取り組んでいます。さらに、令和7年度に新設した学習空間「Inter-Link HUB」および大学生メンターによる学習支援を通じて、生徒一人ひとりの学びを支える放課後学習支援を行っています。また、今年度より特進コースに難関国公立を目指すS特進クラスを設置、KSUコース2、3年生を対象とした「KSUアワー」の実施など、さらなる学力の伸長と生徒の将来への可能性を拓けます。ICTを活用した教育の推進及び全校生徒が所持する端末の有効活用に向けて、環境の整備も継続して行っております。																																										
(5)	令和8年度の保護者負担軽減策及び考え方	これまで、成績優秀者に対し奨学金制度を設け、授業料の全額減免、半額減免、1/3減免を実施してきました。また、兄弟姉妹在籍者には、入学金の一部を入学後に減免しています。さらに、「サギタリウス基金」を原資とする奨学金制度を運用しております。																																									
(6)	今後5年程度の保護者負担軽減計画	奨学金制度の運用により、保護者の負担軽減を図っておりますが、ICT機器導入に伴う保守費用や社会のニーズに応じた教育課程の再編成により、費用の増加要因は増えるばかりです。やむを得ず納付金の増額改定を行う場合は最小限にとどめ、学費の在り方、奨学金制度のさらなる充実等により保護者負担の軽減が図れるよう検討を行うこととしております。																																									